

SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

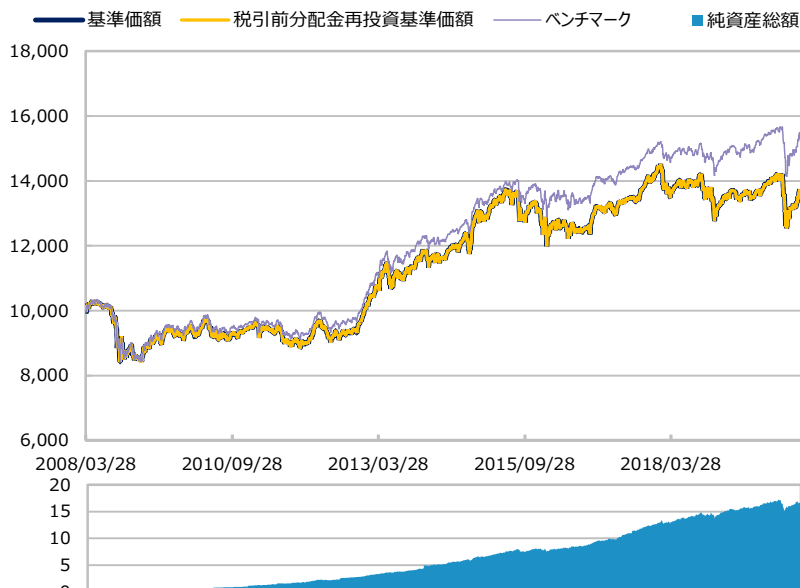
【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

ファンド設定日：2008年03月31日

日経新聞掲載名：おまかせ

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。
- ベンチマークは、合成指数です。ファンド設定日前日を10,000とした指数を使用しています。詳細は後述の「ベンチマークまたは参考指数に関する注意事項」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

| | 当月末 | 前月比 |
|------------|--------|-----|
| 基準価額（円） | 13,514 | +26 |
| 純資産総額（百万円） | 1,673 | +5 |

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

| | 基準日 | ファンド | ベンチマーク |
|------|------------|------|--------|
| 1 カ月 | 2020/05/29 | 0.2 | 0.3 |
| 3 カ月 | 2020/03/31 | 3.7 | 3.9 |
| 6 カ月 | 2019/12/30 | -4.2 | -1.8 |
| 1 年 | 2019/06/28 | -0.4 | 1.9 |
| 3 年 | 2017/06/30 | 0.7 | 6.3 |
| 設定来 | 2008/03/31 | 35.1 | 52.8 |

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- 換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

| 期 | 決算日 | 分配金 |
|-------|------------|-----|
| 第8期 | 2016/04/13 | 0 |
| 第9期 | 2017/04/13 | 0 |
| 第10期 | 2018/04/13 | 0 |
| 第11期 | 2019/04/15 | 0 |
| 第12期 | 2020/04/13 | 0 |
| 設定来累計 | | 0 |

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

| | 基本配分 | 当月末 | 基本配分との差 | 前月比 |
|---------|-------|-------|---------|------|
| 株式計 | 30.0 | 29.9 | -0.1 | -0.7 |
| 国内株式マザー | 20.0 | 15.9 | -4.1 | -0.5 |
| 外国株式マザー | 10.0 | 14.0 | +4.0 | -0.2 |
| 債券計 | 65.0 | 69.9 | +4.9 | +1.7 |
| 国内債券マザー | 50.0 | 54.8 | +4.8 | +1.5 |
| 外国債券マザー | 15.0 | 15.1 | +0.1 | +0.2 |
| 現金等 | 5.0 | 0.2 | -4.8 | -0.9 |
| 合計 | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 |

※ 現金等にはマネー・ファンドを含みます。

※ 各組入マザーファンドの正式名称は3枚目をご覧ください。

基準価額の変動要因（円）

| | 寄与額 |
|------|-----|
| 国内株式 | -12 |
| 外国株式 | +35 |
| 国内債券 | -29 |
| 外国債券 | +14 |
| 為替 | +26 |
| 分配金 | 0 |
| その他 | -9 |
| 合計 | +26 |

※ 基準価額の月間変動額を主要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。

※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

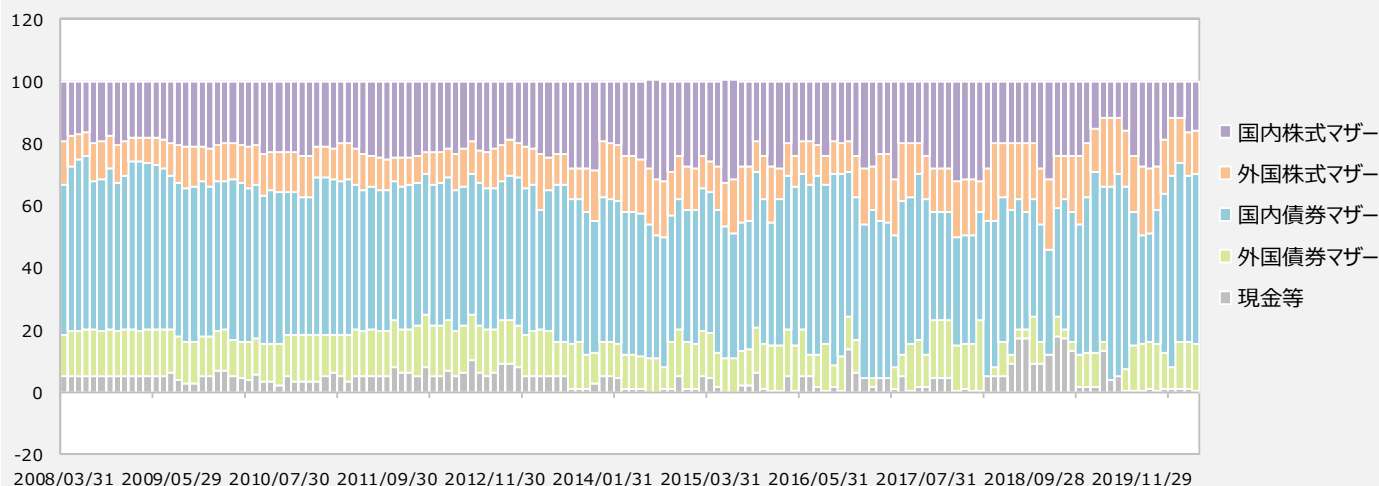
■ 設定・運用

SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

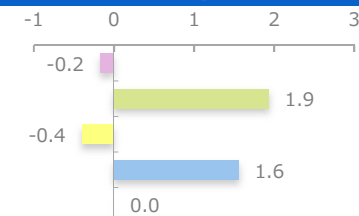
資産構成比率の推移（％）



組入投資信託の騰落率（％）

| | 1か月 | 3か月 | 6か月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|----------|------|------|------|------|------|-------|
| 国内株式マザー | -0.2 | 11.2 | -8.1 | 3.2 | 4.0 | 62.5 |
| 外国株式マザー | 1.9 | 16.8 | -8.5 | 2.6 | 17.6 | 130.4 |
| 国内債券マザー | -0.4 | -0.5 | -0.9 | -1.5 | 2.2 | 24.0 |
| 外国債券マザー | 1.6 | 1.2 | 3.1 | 6.2 | 9.0 | 44.4 |
| マネー・ファンド | 0.0 | 0.0 | -0.0 | -0.1 | -0.2 | 0.9 |

当月騰落率（％）



※ 国内株式マザーの正式名称は「国内株式インデックス・マザーファンド（B号）」です。

※ 外国株式マザーの正式名称は「外国株式インデックス・マザーファンド」です。

※ 国内債券マザーの正式名称は「国内債券パッシブ・マザーファンド」です。

※ 外国債券マザーの正式名称は「外国債券パッシブ・マザーファンド」です。

※ マネー・ファンドの正式名称は「マネー・インカム・マザーファンド」です。

SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

ファンドマネージャーコメント

月初は、基本資産配分に対して、国内株式をアンダーウェイト、外国株式をオーバーウェイトとして株式全体を中立としました。また国内債券をオーバーウェイト、外国債券を中立としました。上旬、国内株式のアンダーウェイトを解消することで、株式全体を小幅オーバーウェイトへ変更し、国内債券についてはオーバーウェイトを縮小しました。その後中旬には、再び国内株式のアンダーウェイトを構築することで、株式全体を中立へ変更し、月末まで同配分を維持しました。

月初、景気の先行きに対する不透明感が高いものの、先進国中心に経済活動が再開し、投資家心理が改善していることを考慮し、株式を中立としました。上旬、米国の雇用統計が市場予想に反し大幅に持ち直したことを受け、投資家心理の改善が続くと判断し、国内株式のアンダーウェイトを解消し、株式を中立から小幅オーバーウェイトへ引き上げました。その後、米国で新型コロナウイルスの感染再拡大への懸念が広がり、株式市場の変動性が高まりました。当面不安定な相場展開が続くと考え、中旬、国内株式のウェイトを引き下げることで、株式を小幅オーバーウェイトから中立へ変更しました。

主要国で大規模な金融緩和や景気対策が実施され、先進国中心に経済活動の正常化が進展していることは、市場のサポート要因になると考えます。一方、米中関係の悪化や、感染再拡大による経済活動の停滞によって、今後市場が調整する可能性もあると見ています。

今後も市場の動向に注意しながら、見直しに応じて機動的に投資配分比率を調整することで、安定的な収益の確保と信託財産の中期的な成長を目指してまいります。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

※ このページは「国内株式インデックス・マザーファンド（B号）」の情報を記載しています。

資産構成比率（％）

| | 当月末 | 前月比 |
|-----|-------|------|
| 株式 | 97.7 | -0.1 |
| 先物等 | 2.2 | +0.7 |
| 現金等 | 0.1 | -0.5 |
| 合計 | 100.0 | 0.0 |

騰落率（税引前分配金再投資）（％）

| | 基準日 | ファンド | ベンチマーク |
|-----|------------|------|--------|
| 1か月 | 2020/05/29 | -0.2 | -0.2 |
| 3か月 | 2020/03/31 | 11.2 | 11.2 |
| 6か月 | 2019/12/30 | -8.1 | -8.2 |
| 1年 | 2019/06/28 | 3.2 | 3.1 |
| 3年 | 2017/06/30 | 4.0 | 3.8 |
| 設定来 | 2008/03/31 | 62.5 | 62.2 |

※ ベンチマークは、TOPIX（配当込み）です。

組入上位10業種（％）

| | 当月末 | 前月比 | |
|----------|------|------|------|
| 1 電気機器 | 14.8 | +0.6 | 14.8 |
| 2 情報・通信業 | 9.7 | +0.4 | 9.7 |
| 3 化学 | 7.1 | +0.0 | 7.1 |
| 4 輸送用機器 | 7.1 | -0.0 | 7.1 |
| 5 医薬品 | 6.7 | -0.2 | 6.7 |
| 6 サービス業 | 5.2 | -0.1 | 5.2 |
| 7 機械 | 5.2 | +0.2 | 5.2 |
| 8 小売業 | 4.9 | +0.0 | 4.9 |
| 9 銀行業 | 4.8 | -0.1 | 4.8 |
| 10 卸売業 | 4.4 | -0.2 | 4.4 |

※ 業種は東証業種分類です。

組入上位10銘柄（％）

（組入銘柄数 1,661）

| 銘柄 | 業種 | 比率 |
|---------------------|--------|-----|
| 1 トヨタ自動車 | 輸送用機器 | 3.4 |
| 2 ソニー | 電気機器 | 2.1 |
| 3 ソフトバンクグループ | 情報・通信業 | 1.9 |
| 4 キーエンス | 電気機器 | 1.8 |
| 5 日本電信電話 | 情報・通信業 | 1.5 |
| 6 武田薬品工業 | 医薬品 | 1.4 |
| 7 任天堂 | その他製品 | 1.3 |
| 8 三菱UFJフィナンシャル・グループ | 銀行業 | 1.3 |
| 9 リクルートホールディングス | サービス業 | 1.1 |
| 10 第一三共 | 医薬品 | 1.1 |

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用


 三井住友DSアセットマネジメント

SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

※ このページは「国内株式インデックス・マザーファンド（B号）」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

株式市場では、TOPIX（配当込み）の月間騰落率は0.19%の下落となりました。

上旬は、米経済指標が改善を示したことや、ECB（欧州中央銀行）による金融緩和の強化などを受けて、上昇しました。中旬は、パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長が米経済の先行きに慎重な見方を示したこと、新型コロナウイルス感染拡大への警戒感が強まったことから下落し、その後はFRBによる米企業の社債購入開始などを好感した米株高が支援材料となり、持ち直す動きとなりました。下旬は、政策効果への期待が支えとなる一方、新型コロナウイルス感染拡大への警戒感が根強いことなどが重石となり、方向感を欠く展開となりました。業種別では、情報・通信業、その他製品、電気機器などが市場をアウトパフォームした一方、鉱業、陸運業、空運業などがアンダーパフォームしました。

＜市場見通し＞

世界景気については、金融・財政面での政策出動に加え、経済活動の再開を受けて回復を辿ると予想します。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大は収束していないことから、不安定な経済環境が続くと考えます。

株式市場については、景気配慮型の政策期待が支えとなるものの、実体景気や企業業績の落ち込み度合い、底入れ後の回復の強さを探る動きから、方向感に欠ける展開を予想します。ただし、新型コロナウイルスの感染再拡大への警戒感が拡がることによって、不安定な値動きとなる可能性があります。リスク要因としては、感染拡大による経済活動制限措置の再強化、米中対立の激化、信用危機の発生、地政学リスクの高まりなどに留意する必要があります。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

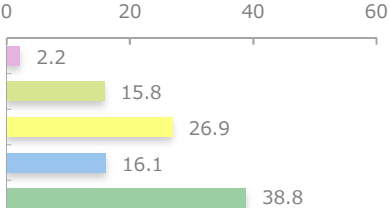
※ このページは「国内債券パッシブ・マザーファンド」の情報を記載しています。

資産構成比率（％）

| | 当月末 | 前月比 |
|-----|-------|------|
| 債券 | 99.8 | -0.0 |
| 先物等 | 0.0 | 0.0 |
| 現金等 | 0.2 | +0.0 |
| 合計 | 100.0 | 0.0 |

残存構成比率（％）

| | 当月末 | 前月比 |
|-------|------|------|
| 1年未満 | 2.2 | +0.0 |
| 1-3年 | 15.8 | +2.4 |
| 3-7年 | 26.9 | -1.9 |
| 7-10年 | 16.1 | +0.3 |
| 10年以上 | 38.8 | -0.9 |



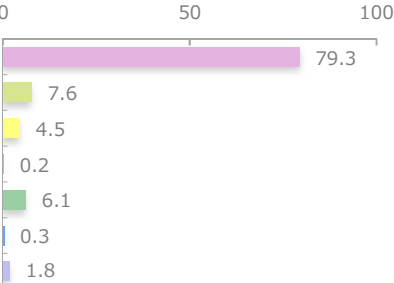
騰落率（税引前分配金再投資）（％）

| | 基準日 | ファンド | ベンチマーク |
|-----|------------|------|--------|
| 1か月 | 2020/05/29 | -0.4 | -0.4 |
| 3か月 | 2020/03/31 | -0.5 | -0.5 |
| 6か月 | 2019/12/30 | -0.9 | -0.9 |
| 1年 | 2019/06/28 | -1.5 | -1.6 |
| 3年 | 2017/06/30 | 2.2 | 2.1 |
| 設定来 | 2008/03/31 | 24.0 | 23.8 |

※ ベンチマークは、NOMURA-BPI（総合）です。

種別構成比率（％）

| | 当月末 | 前月比 |
|-------|------|------|
| 国債 | 79.3 | -1.1 |
| 地方債 | 7.6 | +0.2 |
| 政府機関債 | 4.5 | +0.1 |
| 金融債 | 0.2 | +0.0 |
| 事業債 | 6.1 | +0.8 |
| 円建外債 | 0.3 | +0.0 |
| その他債券 | 1.8 | +0.0 |



ポートフォリオ特性値

| | 当月末 | 前月比 |
|------------|------|------|
| クーポン（％） | 1.2 | +0.0 |
| 残存年数（年） | 10.3 | -0.1 |
| デュレーション（年） | 9.4 | -0.1 |
| 直接利回り（％） | 1.0 | +0.0 |
| 最終利回り（％） | 0.1 | +0.0 |

※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。

※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

組入上位10銘柄

（組入銘柄数 426）

| 銘柄 | クーポン（％） | 残存年数（年） | 比率（％） |
|-------------------|---------|---------|-------|
| 1 第329回利付国債（10年） | 0.800 | 3.0 | 1.5 |
| 2 第412回利付国債（2年） | 0.100 | 1.8 | 1.3 |
| 3 第143回利付国債（5年） | 0.100 | 4.7 | 1.3 |
| 4 第59回利付国債（20年） | 1.700 | 2.5 | 1.1 |
| 5 第357回利付国債（10年） | 0.100 | 9.5 | 1.1 |
| 6 第330回利付国債（10年） | 0.800 | 3.2 | 1.0 |
| 7 第325回利付国債（10年） | 0.800 | 2.2 | 0.9 |
| 8 第61回利付国債（20年） | 1.000 | 2.7 | 0.9 |
| 9 第142回利付国債（5年） | 0.100 | 4.5 | 0.9 |
| 10 第358回利付国債（10年） | 0.100 | 9.7 | 0.9 |

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用


 三井住友DSアセットマネジメント

SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

※ このページは「国内債券パッシブ・マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

長期金利（10年国債利回り）は、前月末の+0.005%から+0.028%へ上昇しました。

長期金利は、初旬に0.0%台半ば近辺へ上昇しました。海外で経済活動が徐々に再開されるなかで景気の底打ちが意識され、株高や原油高の進行とともに海外金利が上昇したことが、国内長期金利の上昇材料となりました。しかし、FOMC（米連邦公開市場委員会）で当面利上げはないとの見通しが示されるなか海外金利が低下すると、国内長期金利も再び0%近辺へ戻りました。その後は米中の対立や新型コロナウイルスの感染再拡大が警戒される一方で、7月以降国債が増発されることへの警戒感も強く、長期金利は0%近辺で推移しました。月末にかけては国債増発への警戒が勝り、長期金利は小幅に上昇して終わりました。

＜市場見通し＞

国内景気は、最悪期を脱却し反発が見込まれるものの、経済活動が元の水準に戻るには時間がかかる見通しです。消費増税や教育無償化の影響を除くと、CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）の前年比伸び率はマイナス圏で推移する見込みです。低金利の長期化に伴う副作用が累積するなかで追加利下げのハードルは高く、日銀の長短金利操作目標（短期金利：日本銀行当座預金のうち政策金利残高に-0.1%のマイナス金利を適用、長期金利：ゼロ%程度）は維持される見通しです。国債増発による需給悪化が警戒されるものの、日銀は積極的な国債買入れによる金利上昇抑制の姿勢を示していることから、長期金利は小幅プラス圏での推移を想定します。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

※ このページは「外国株式インデックス・マザーファンド」の情報を記載しています。

資産構成比率（%）

| | 当月末 | 前月比 |
|-----|-------|------|
| 株式 | 97.4 | +0.7 |
| 先物等 | 2.7 | -0.5 |
| 現金等 | -0.1 | -0.1 |
| 合計 | 100.0 | 0.0 |

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

| | 基準日 | ファンド | ベンチマーク |
|-----|------------|-------|--------|
| 1か月 | 2020/05/29 | 1.9 | 2.0 |
| 3か月 | 2020/03/31 | 16.8 | 16.9 |
| 6か月 | 2019/12/30 | -8.5 | -8.3 |
| 1年 | 2019/06/28 | 2.6 | 2.7 |
| 3年 | 2017/06/30 | 17.6 | 18.4 |
| 設定来 | 2008/03/31 | 130.4 | 134.0 |

※ ベンチマークは、MSCIコクサイインデックス（円換算ベース）です。

組入上位5カ国・地域（%）

| | 当月末 | 前月比 |
|--------|------|------|
| 1 アメリカ | 66.7 | +0.0 |
| 2 イギリス | 4.6 | -0.1 |
| 3 スイス | 3.7 | +0.1 |
| 4 フランス | 3.5 | +0.1 |
| 5 カナダ | 3.4 | +0.0 |

組入上位5通貨（%）

| | 当月末 | 前月比 |
|-----------|------|------|
| 1 アメリカドル | 69.3 | -0.1 |
| 2 ユーロ | 10.7 | +0.5 |
| 3 イギリスポンド | 4.7 | -0.1 |
| 4 スイスフラン | 3.5 | +0.1 |
| 5 カナダドル | 3.3 | +0.0 |

組入上位5業種（%）

| | 当月末 | 前月比 |
|-----------------|------|------|
| 1 ソフトウェア・サービス | 11.9 | +0.8 |
| 2 医薬品・バイオテクノロジー | 8.8 | -0.1 |
| 3 メディア・娯楽 | 6.4 | -0.1 |
| 4 資本財 | 6.0 | +0.0 |
| 5 小売 | 5.8 | +0.2 |

※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

組入上位10銘柄（%）

（組入銘柄数 1,289）

| | 銘柄 | 国・地域 | 業種 | 比率 |
|----|-----------------|------|------------------|-----|
| 1 | アップル | アメリカ | テクノロジー・ハードウェア・機器 | 4.1 |
| 2 | マイクロソフト | アメリカ | ソフトウェア・サービス | 3.7 |
| 3 | アマゾン・ドット・コム | アメリカ | 小売 | 2.9 |
| 4 | フェイスブック | アメリカ | メディア・娯楽 | 1.4 |
| 5 | アルファベット クラスC | アメリカ | メディア・娯楽 | 1.1 |
| 6 | アルファベット クラスA | アメリカ | メディア・娯楽 | 1.1 |
| 7 | ジョンソン・エンド・ジョンソン | アメリカ | 医薬品・バイオテクノロジー | 0.9 |
| 8 | ネスレ | スイス | 食品・飲料・タバコ | 0.8 |
| 9 | VISA | アメリカ | ソフトウェア・サービス | 0.8 |
| 10 | プロクター・アンド・ギャンブル | アメリカ | 家庭用品・パーソナル用品 | 0.7 |

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

※ このページは「外国株式インデックス・マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

6月の米国市場は概ね横ばいとなりました。

月初は、ISM（全米供給管理協会）製造業景況指数や雇用統計など複数の指標で経済活動の回復が確認されたことや、人種問題に関連した抗議デモが沈静化してきたことが好感され、上昇しました。その後中旬にかけて、FRB（米連邦準備制度理事会）が軟調な経済見通しを示したことや、新型コロナウイルス感染再拡大への不安が相場を押し下げました。月末にかけては、経済活動の回復や、金融・財政政策への期待が上昇要因となった一方で、IMF（国際通貨基金）が世界経済の見通しを下方修正したことや、米国がEU（欧州連合）からの輸入製品に追加関税を検討していることなど対外政策への警戒感が下落要因となり、一進一退の展開となりました。中旬に開催されたFOMC（米連邦公開市場委員会）では政策金利は据え置かれ、少なくとも2022年まで現状のゼロ金利に近い水準を維持するとの見通しが示されました。

欧州市場は上昇しました。

経済活動の回復や金融・財政政策への期待が上昇要因となりました。一方でFRBが軟調な経済見通しを示したことや、新型コロナウイルス感染再拡大への不安、米国と欧州との貿易摩擦懸念が上値を抑える要因となりました。

（為替）当月末の米ドル/円は、前月末から円安の107円台後半（先月107円台半ば）、ユーロ/円は前月末から円安の121円台前半（先月119円台前半）となりました。

米ドル/円は、米中関係悪化への懸念が後退し、経済活動再開の動きがセンチメント（投資家心理）の回復を後押しするなか、一時109円台後半まで米ドル高・円安となる場面がありました。その後は、米金利の低下に合わせて米ドル安・円高に転じ、米国内の感染再拡大のリスクが警戒されるなか、もみ合いで推移しました。ユーロ/円は、ドイツの追加財政刺激策や経済活動再開に伴うセンチメントの回復などから、一時124円台までユーロ高・円安となる場面がありました。その後は中国や米国などで感染再拡大のリスクへの警戒が高まる中、一時120円割れまでユーロ安・円高となり、月間の上昇幅を縮小しました。

＜市場見通し＞

米国市場は、やや上値の重い展開を予想します。

金融緩和政策の継続が株価の下支え材料になると想定される一方で、新型コロナウイルスの感染再拡大による経済活動停滞の可能性が高まっていることから、投資家心理の悪化が懸念されます。また11月の大統領選挙に向けて、更なる財政出動の財源として法人税増税を政策として掲げている民主党のバイデン候補の支持率が上昇しており、株式市場はやや神経質な展開になることが想定されます。その他、ワクチンおよび治療薬の開発遅延の可能性、また米中関係の更なる悪化によって、株価が調整する可能性があります。

欧州市場も、やや上値の重い展開を予想します。

米国と同様に、新型コロナウイルスの感染再拡大による経済活動の停滞やワクチンおよび治療薬の開発遅延、ま

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

※ このページは「外国株式インデックス・マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

た米国と欧州および中国との関係悪化がリスク材料として懸念されます。但し、金融・財政政策への期待が相場のサポート材料になると予想します。

（為替）米ドル/円は、足元で新型コロナウイルスの感染再拡大リスクが警戒されますが、日米金利差が米ドルの支援材料となるほか、経済活動再開への期待もサポート要因となり、レンジ相場を予想します。ユーロ/米ドルに関しては、政治的な不透明感が残るものの欧州復興基金設立に向けた動きが意識され、レンジ相場を予想します。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

※ このページは「外国債券パッシブ・マザーファンド」の情報を記載しています。

資産構成比率（％）

| | 当月末 | 前月比 |
|-----|-------|------|
| 債券 | 98.9 | +0.5 |
| 先物等 | 0.0 | 0.0 |
| 現金等 | 1.1 | -0.5 |
| 合計 | 100.0 | 0.0 |

騰落率（税引前分配金再投資）（％）

| | 基準日 | ファンド | ベンチマーク |
|-----|------------|------|--------|
| 1か月 | 2020/05/29 | 1.6 | 1.6 |
| 3か月 | 2020/03/31 | 1.2 | 1.3 |
| 6か月 | 2019/12/30 | 3.1 | 3.3 |
| 1年 | 2019/06/28 | 6.2 | 6.4 |
| 3年 | 2017/06/30 | 9.0 | 9.2 |
| 設定来 | 2008/03/31 | 44.4 | 45.6 |

※ ベンチマークは、FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）です。

ポートフォリオ特性値

| | 当月末 | 前月比 |
|------------|-----|------|
| クーポン（％） | 2.6 | -0.0 |
| 残存年数（年） | 9.7 | +0.1 |
| デュレーション（年） | 7.9 | +0.1 |
| 直接利回り（％） | 2.1 | -0.0 |
| 最終利回り（％） | 0.4 | -0.1 |

※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。

※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

組入上位5通貨（％）

| | 当月末 | 前月比 |
|-------------|------|------|
| 1 アメリカドル | 44.9 | -0.4 |
| 2 ユーロ | 39.8 | +0.9 |
| 3 イギリスポンド | 6.5 | -0.1 |
| 4 オーストラリアドル | 2.1 | +0.1 |
| 5 カナダドル | 1.9 | -0.0 |

組入上位5カ国・地域（％）

| | 当月末 | 前月比 |
|--------|------|------|
| 1 アメリカ | 44.9 | -0.4 |
| 2 フランス | 10.1 | +0.3 |
| 3 イタリア | 9.2 | +0.1 |
| 4 ドイツ | 6.8 | +0.2 |
| 5 イギリス | 6.5 | -0.1 |

組入上位10銘柄

（組入銘柄数 635）

| 銘柄 | 通貨 | クーポン（％） | 残存年数（年） | 比率（％） |
|-----------|--------|---------|---------|-------|
| 1 アメリカ国債 | アメリカドル | 1.750 | 4.0 | 0.8 |
| 2 アメリカ国債 | アメリカドル | 3.000 | 28.1 | 0.5 |
| 3 アメリカ国債 | アメリカドル | 2.625 | 8.6 | 0.5 |
| 4 アメリカ国債 | アメリカドル | 2.125 | 3.7 | 0.5 |
| 5 アメリカ国債 | アメリカドル | 2.250 | 4.4 | 0.5 |
| 6 イタリア国債 | ユーロ | 3.500 | 9.7 | 0.4 |
| 7 アメリカ国債 | アメリカドル | 2.875 | 8.1 | 0.4 |
| 8 アメリカ国債 | アメリカドル | 1.625 | 5.9 | 0.4 |
| 9 アメリカ国債 | アメリカドル | 2.500 | 3.9 | 0.4 |
| 10 アメリカ国債 | アメリカドル | 2.375 | 4.1 | 0.4 |

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

※ このページは「外国債券パッシブ・マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

（債券）当月末（現地6月29日）の米国長期金利（10年国債利回り）は0.62%と、前月末の0.69%から低下しました。ドイツ長期金利（10年国債利回り）は-0.47%と前月末の-0.42%から低下しました。

米国では、香港問題をめぐり警戒された米中関係悪化への懸念が後退し、経済活動再開の動きがセンチメント（投資家心理）の回復を後押しするなか、上旬に金利が上昇しました。その後は、FOMC（米連邦公開市場委員会）において、2022年まで低金利を維持することが示唆されるなどハト派（景気を重視する立場）的な姿勢が示されたことや、米国内において新型コロナウイルス感染再拡大のリスクが警戒されたことなどを背景に、金利は低下傾向となりました。

ユーロ圏では、経済活動の再開を背景としたセンチメントの回復や、ドイツの追加財政刺激策などにより、上旬に金利が上昇しました。その後は、ECB（欧州中央銀行）の金融緩和政策や米金利の低下などを背景に、ドイツ金利も低下に転じました。欧州復興基金に関してはEU（欧州連合）サミットなどで7月以降も協議継続となったものの、ドイツ金利への影響は限定的でした。

（為替）当月末（6月30日）の米ドル/円は、前月末から円安の107円台後半（先月107円台半ば）、ユーロ/円は前月末から円安の121円台前半（先月119円台前半）となりました。

米ドル/円は、米中関係悪化への懸念が後退し、経済活動再開の動きがセンチメントの回復を後押しするなか、一時109円台後半まで米ドル高・円安となる場面がありました。その後は、米金利の低下に合わせて米ドル安・円高に転じ、米国内の感染再拡大のリスクが警戒されるなか、もみ合いで推移しました。

ユーロ/円は、ドイツの追加財政刺激策や経済活動再開に伴うセンチメントの回復などから、一時124円台までユーロ高・円安となる場面がありました。その後は中国や米国などで感染再拡大のリスクへの警戒が高まる中、一時120円割れまでユーロ安・円高となり、月間の上昇幅を縮小しました。

＜市場見通し＞

（債券）米国では、経済活動再開が徐々に進められるなか、経済指標の回復ペースが意識されやすいと想定します。ただし、米国内の一部の州では感染再拡大のリスクが高まり、経済再開が足踏みとなっていることや、金融政策面ではFRB（米連邦準備制度理事会）による米国債等の買入れが継続されていることなどから、長期金利は低位での推移が続くと予想します。

ユーロ圏では、足元で欧州復興基金設立に向けた協議が継続されるなか、経済活動再開の動きも順次進展するものと想定されます。ただし、経済活動の再開については、米国や中国のみならず、ドイツの一部の州などでも感染再拡大のリスクが警戒され、再開の足取りは慎重なものになるとみられます。また、ECBの国債買入れ策も継続的に実施されていることから、金利は低位での推移を予想します。

（為替）米ドル/円は、足元で新型コロナウイルスの感染再拡大リスクが警戒されますが、日米金利差が米ドル

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

※ このページは「外国債券パッシブ・マザーファンド」の情報を記載しています。

ファンドマネージャーコメント

の支援材料となるほか、経済活動再開への期待もサポート要因となり、レンジ相場を予想します。ユーロ/米ドルに関しては、不透明感はあるものの欧州復興基金設立に向けた動きが意識され、レンジ相場を予想します。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

※ このページは「マネーインカム・マザーファンド」の情報を記載しています。

資産構成比率（％）

| | 当月末 | 前月比 |
|-----|-------|------|
| 債券 | 69.0 | -2.0 |
| 先物等 | 0.0 | 0.0 |
| 現金等 | 31.0 | +2.0 |
| 合計 | 100.0 | 0.0 |

残存構成比率（％）

| | 当月末 | 前月比 |
|-------|------|------|
| 1年未満 | 61.4 | -1.8 |
| 1-3年 | 7.5 | -0.2 |
| 3-7年 | 0.0 | 0.0 |
| 7-10年 | 0.0 | 0.0 |
| 10年以上 | 0.0 | 0.0 |

騰落率（税引前分配金再投資）（％）

| | 基準日 | ファンド | ベンチマーク |
|-----|------------|------|--------|
| 1か月 | 2020/05/29 | 0.0 | -0.0 |
| 3か月 | 2020/03/31 | 0.0 | -0.0 |
| 6か月 | 2019/12/30 | -0.0 | -0.0 |
| 1年 | 2019/06/28 | -0.1 | -0.0 |
| 3年 | 2017/06/30 | -0.2 | -0.2 |
| 設定来 | 2008/03/31 | 0.9 | 0.7 |

※ ベンチマークは、無担保コール翌日物を指します。

種別構成比率（％）

| | 当月末 | 前月比 |
|-------|------|------|
| 国債 | 0.0 | 0.0 |
| 地方債 | 0.0 | 0.0 |
| 政府機関債 | 69.0 | -2.0 |
| 金融債 | 0.0 | 0.0 |
| 事業債 | 0.0 | 0.0 |
| 円建外債 | 0.0 | 0.0 |
| その他債券 | 0.0 | 0.0 |

ポートフォリオ特性値

| | 当月末 | 前月比 |
|------------|------|------|
| クーポン（％） | 0.8 | +0.1 |
| 残存年数（年） | 0.3 | +0.0 |
| デュレーション（年） | 0.3 | +0.0 |
| 直接利回り（％） | 0.8 | +0.1 |
| 最終利回り（％） | -0.0 | -0.0 |

※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。

※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

組入上位10銘柄

| | | （組入銘柄数 12） | | |
|----|----------------------------|------------|---------|-------|
| | 銘柄 | クーポン（％） | 残存年数（年） | 比率（％） |
| 1 | 第112回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券 | 1.100 | 0.1 | 11.1 |
| 2 | 第115回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券 | 1.000 | 0.2 | 9.1 |
| 3 | 第9回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券 | 1.900 | 0.7 | 7.6 |
| 4 | 第137回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券 | 1.200 | 1.0 | 7.5 |
| 5 | 第25回政府保証地方公共団体金融機構債券 | 1.200 | 1.0 | 7.5 |
| 6 | 第2回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券 | 1.800 | 0.5 | 3.8 |
| 7 | 第57回政府保証関西国際空港債券 | 1.200 | 0.5 | 3.7 |
| 8 | 第129回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券 | 1.200 | 0.7 | 3.7 |
| 9 | 第126回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券 | 1.200 | 0.6 | 3.7 |
| 10 | 第17回政府保証地方公共団体金融機構債券 | 0.900 | 0.3 | 3.7 |

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

ファンドの特色

1. 日本を含む世界各国の株式、公社債および短期金融資産に分散投資することにより、信託財産の着実な成長を目指した運用を行います。実際の運用は、各資産に投資する5つのマザーファンドへの投資を通じて行います（ファミリーファンド方式）。

国内株式 国内株式インデックス・マザーファンド（B号）

国内債券 国内債券パッシブ・マザーファンド

外国株式 外国株式インデックス・マザーファンド

外国債券 外国債券パッシブ・マザーファンド

短期金融資産 マネーインカム・マザーファンド

2. 委託会社が独自に作成する基本資産配分に対し、一定の許容変動幅内で機動的に資産配分を変更します。

3. 運用にあたっては、基本資産配分に基づいて、以下の指数を合成したベンチマークを上回る投資成果を目指します。

国内株式20%：TOPIX（東証株価指数、配当込み）

国内債券50%：NOMURA－BPI（総合）

外国株式10%：MSCIコクサイインデックス（円ベース）

外国債券15%：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

短期金融資産5%：無担保コール翌日物

※基本資産配分の見直しに伴い、ベンチマークの合成比率の見直しも行います。

4. 実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況、これらに対する外部的評価の変化等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。特に、企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株式の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。

■ 債券市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により債券相場が下落（金利が上昇）した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、ファンドが保有する個々の債券については、下記「信用リスク」を負うことにもなります。

■ 信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。



SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

投資リスク

■ 為替変動リスク

外貨建資産への投資は、円建資産に投資する場合の通常のリスクのほかに、為替変動による影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落（円高）する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動（円高）は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 市場流動性リスク

ファンドの資金流出入に伴い、有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 投資資産の市場流動性が低下することにより投資資産の取引等が困難となった場合は、ファンドの換金申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金申込みを取り消すことがあります。

SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

信託期間

無期限（2008年3月31日設定）

決算日

毎年4月13日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
ありません。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に年0.649%（税抜き0.59%）の率を乗じた額です。
- その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
 - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
 - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
 - 資産を外国で保管する場合の費用 等※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※監査費用の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 受益者が確定拠出年金法に規定する資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合は、所得税および地方税がかかりません。なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

| | |
|------|--|
| 委託会社 | ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ： https://www.smd-am.co.jp コールセンター： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く） |
| 受託会社 | ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三井住友信託銀行株式会社 |
| 販売会社 | ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。 |

SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

販売会社

| 販売会社名 | 登録番号 | 日本証券業協会 | 一般社団法人 金融商品取引業協会 | 日本投資顧問業協会 | 金融先物取引業協会 | 一般社団法人 投資信託協会 | 備考 |
|----------------------|--------------------------|---------|---------------------|-----------|-----------|------------------|----|
| auカブコム証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号 | ○ | | | ○ | | |
| 株式会社SBI証券 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号 | ○ | ○ | | ○ | | |
| 岡三オンライン証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第52号 | ○ | | ○ | ○ | | |
| 松井証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号 | ○ | | | ○ | | |
| マネックス証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号 | ○ | | ○ | ○ | | |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 | 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 | | ○ | ○ | | ○ | |

ベンチマークまたは参考指数に関する注意事項

- ベンチマークは、TOPIX（配当込み）、NOMURA-BPI（総合）、MSCIコクサイインデックス（円ベース）、FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）、無担保コール翌日物の日々の収益率を当ファンドの基本資産配分で加重平均し、当社が独自に指数化しています。

TOPIXは、株式会社東京証券取引所が公表する指数であり、その指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。NOMURA-BPI（総合）は、野村証券株式会社が公表する指数であり、その指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は野村証券株式会社に帰属します。MSCIコクサイインデックスは、MSCI Inc.が公表する指数であり、その指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。FTSE 世界国債インデックスはFTSE Fixed Income LLCが公表する指数であり、その指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。当ファンドをこれら発行者、許諾者が保証するものではありません。

SMAM・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）

【投信協会商品分類】 追加型投信／内外／資産複合

作成基準日：2020年06月30日

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に關し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント